

経営比較分析表（令和4年度決算）

京都府地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立京北病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド 透 訓	救 臨 へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	4,529	第1種該当	-	10：1

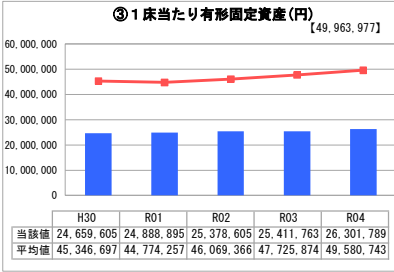
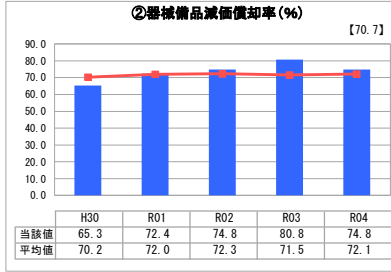
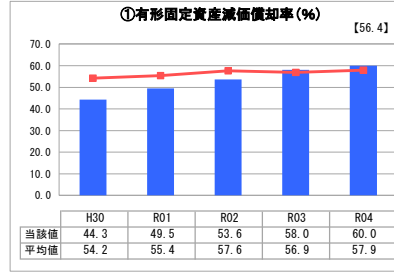
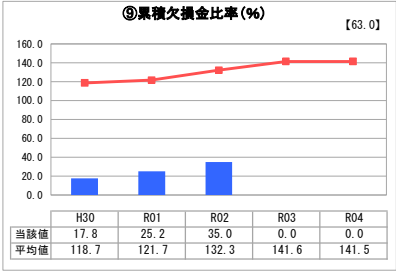
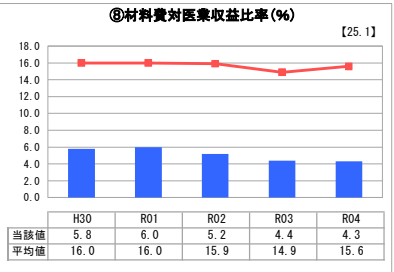
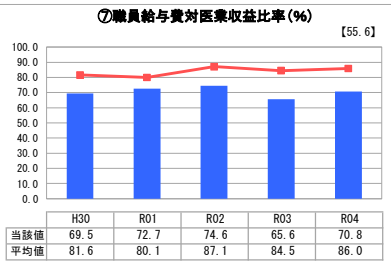
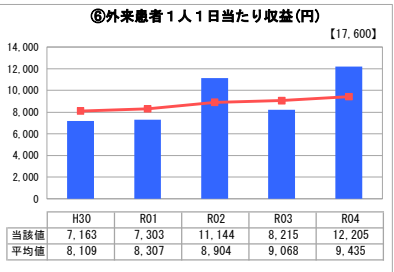
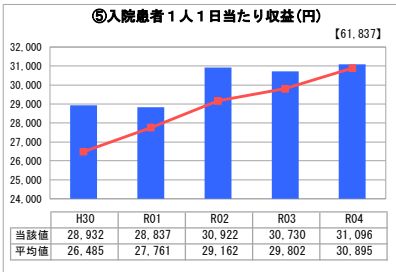
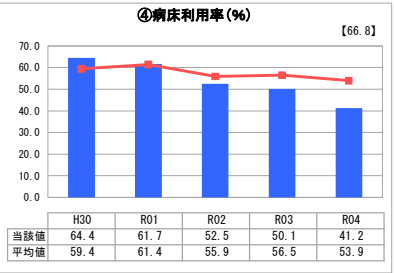
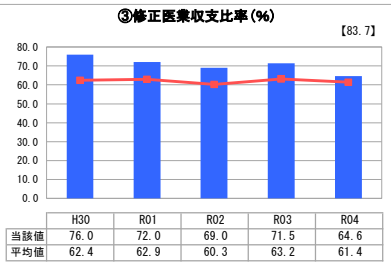
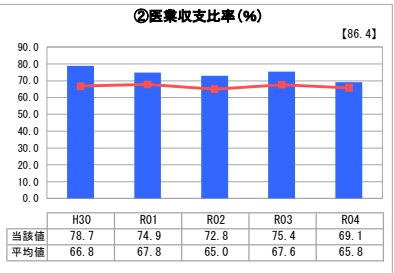
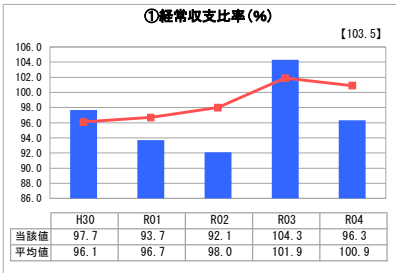
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
38	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	38
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
26	-	26

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【	令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域唯一の病院として、京都市立病院との連携の下、訪問診療・訪問看護等の在宅医療機能を強化することで地域に根差した医療・介護を提供する地域包括ケアシステムの拠点としての役割を担う。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

超高齢化と若年層の減少による入院・外来患者・介護施設利用者数の減少し、医業・介護収益も減少したが、⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は前年度を上回った。また、新型コロナウイルス接種による補助金収入や運営費負担金の減少も要因となり、①経常収支比率②医業収支比率は前年度を下回った。

2. 老朽化の状況について

器械備品は電子カルテシステムの更新により②器械備品減価償却率が前年度を下回っている。また、①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあり、建物の一部は築後39年を経過している箇所もあることから、今後対策の検討が必要になる。

全体総括

地域包括ケアシステムの拠点施設として関係機関とのネットワークの構築を図り、地域包括ケア病床の運用や訪問診療・看護の充実に努めることで、地域に根差した医療・介護を提供した。超高齢化と若年層の減少による患者数の減少や病床利用率の低下が影響していることから、今後は在宅医療の強化や入院患者の確保等により収益向上を図り、病床利用率・経常収支比率等の改善に向けて取り組んで行く。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。